

展示室1 小特集：イギリスの挿絵

美しい装丁、活字やレイアウトのデザイン性など、イギリスの豊かな本の世界から、今回は挿絵の魅力について、19世紀末の作例をご紹介します。

文字やレイアウトのデザインにもこだわったウィリアム・モリス主宰のケルムスコット・プレスの本は、挿絵ばかりでなくページ全体でひとつの世界が構築されています。日本人にも大きな影響を与えたオーブリー・ビアズリーの挿絵は、余白の使い方や直線と曲線の対比など、美しくユニークな魅力にあふれています。

郡山市立美術館のコレクションの特色となっているイギリス近代美術の流れとともに楽しみください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ウィリアム・ホガース	サミュエル・マーティンの肖像	1758-60頃	油彩・キャンバス
ウィリアム・ホガース	性格と戯画	1743	エッチング・紙
ウィリアム・ホガース	誤った遠近法		エッチング・紙
ウィリアム・ホガース	ビール街とジン小路 ビール街	1750-51	エッチング、エングレーヴィング・紙
ウィリアム・ホガース	ビール街とジン小路 ジン小路	1750-51	エッチング、エングレーヴィング・紙
トマス・ゲインズボロ	オース夫人の肖像	1767	油彩・キャンバス
トマス・ゲインズボロ	荷馬車のいる丘陵地帯の森の風景	1745-46頃	油彩・キャンバス
サー・トマス・ローレンス	ラビー・ウィリアムズ牧師	1790代初頭	油彩・キャンバス
サー・ジョシュア・レイノルズ	エグリントン伯爵夫人、ジェーンの肖像	1777	油彩・キャンバス
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	カンバーランド州のコールダー・ブリッジ	1810	油彩・キャンバス
ジョン・クローム	ヘレスドンの眺め	1807頃	油彩・キャンバス
ジョン・マーティン	フレッシュウォーター・ベイ	1815頃	油彩・キャンバス
アルバート・ジョゼフ・ムーア	黄色いマーガレット	1881	油彩・キャンバス
ジョン・ウィリアム・ウォーターハウス	フローラ	1914頃	油彩・キャンバス
サー・エドワード・コリー・バーン＝ジョーンズ	フローラ	1868-84	油彩・キャンバス
サー・エドワード・コリー・バーン＝ジョーンズ(画)	W.モリス『世界の果ての泉』	1896	木口木版・紙/本 ケルムスコット・プレス版
サー・エドワード・コリー・バーン＝ジョーンズ(画)	F.エリス編纂『ジェフリー・チャーサー作品集』	1896	木口木版・紙/本 ケルムスコット・プレス版
オーブリー・ビアズリー	おまえの口に口づけしたよ、ヨカナン (オスカー・ワイルド『サロメ』挿絵)	1893	ラインブロック・紙
オーブリー・ビアズリー	J.ラムスデン・プロパートの蔵書票 (『イエロー・ブック』第1巻挿絵)	1893	ラインブロック・紙
オーブリー・ビアズリー	『イエロー・ブック』ポスターデザイン	1894	ラインブロック・紙
オーブリー・ビアズリー	ウィニフレッド・エメリーの肖像 (『イエロー・ブック』第4巻挿絵)	1895	ラインブロック・紙
オーブリー・ビアズリー	『イエロー・ブック』第5巻表紙デザイン	1895	ラインブロック・紙
オーブリー・ビアズリー	メッサリーナ(ユヴェナリス著『6番目の風刺』挿絵)	1895	ラインブロック・紙
オーブリー・ビアズリー	『ピエロ・ライブラリー』表紙見返しデザイン	1896	ラインブロック・紙
オーブリー・ビアズリー	『ピエロ・ライブラリー』裏表紙見返しデザイン	1896	ラインブロック・紙
オーブリー・ビアズリー	『ピエロ・ライブラリー』タイトルページデザイン	1896	ラインブロック・紙
オーブリー・ビアズリー	モスカ(アーサー・シモンズ『ディエップ:1895年』挿絵)	1896	ラインブロック・紙
オーブリー・ビアズリー	アリ・パバ(『40人の盗賊』(未出版)表紙デザイン)	1896	ラインブロック・紙
オーブリー・ビアズリー	『イエロー・ブック』ポスターデザイン(未使用)		ラインブロック・紙

展示室2 人物を描く

人物は古来、美術における重要なモチーフのひとつとして用いられてきました。画家自身の精神まで伝える自画像、特定の人物をモデルに描かれた肖像画のほかにも、何気ない表情やしぐさが詩情豊かに表された作品など、絵画においてもさまざまな人物像が見られます。人物を描くということは、古今東西を問わず多くの画家たちに追及され続ける永遠のテーマといえるでしょう。

日本では、明治に入り本格的に研究され始めた油彩画が、時代を追うにつれ多様性を展開していくなかで、人物画においても多くの成果が生み出されています。画家の眼を通して表現された人物たちは、その内面や描かれた背景をも感じさせ、私たちに多くのことを語りかけてきます。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
浅井 忠	少女の顔	1878 (明治 11)	木炭・紙	
五姓田義松	婦人像	1871 (明治 4) 頃	油彩・キャンバス	
山本芳翠	園田銚像	1885 (明治 18)	油彩・キャンバス	
黒田清輝	東久世伯肖像エスキース	1894 (明治 27)	油彩・キャンバス	
白瀧幾之助	編物をする少女	1895 (明治 28)	油彩・キャンバス	
有島生馬	少女	1908 (明治 41)	油彩・キャンバス	
原 撫松	婦人像	1906-7 (明治 39-40) 頃	油彩・キャンバス	
伊藤快彦	子供像		油彩・キャンバス	
木村荘八	祖母の顔	1916 (大正 5)	油彩・板	
吉田謙吉	婦人	1923 (大正 12)	油彩・キャンバス	
小出楯重	自画像	1918 (大正 7)	油彩・キャンバス	
北川民次	本を読む労働者	1927 (昭和 2)	油彩・キャンバス	
伊原宇三郎	靴職人	1925-9 (大正 14- 昭和 4) 頃	油彩・キャンバス	武田光司コレクション寄贈
林 重義	顔 (自画像)		油彩・キャンバスボード	武田光司コレクション寄贈
里見勝蔵	軍人	1927 (昭和 2)	油彩・キャンバス	
清水登之	モンゴルの人	1935 (昭和 10) 頃	油彩・キャンバス	
中山 巍	赤ジレ座婦	1927 (昭和 2)	油彩・キャンバス	
内田 巖	首飾りの女	1937 (昭和 12) 頃	油彩・キャンバス	武田光司コレクション寄贈
古茂田守介	少女	1949 (昭和 24)	油彩・キャンバス	武田光司コレクション寄贈
吉岡 憲	人物	1949 (昭和 24) 頃	油彩・キャンバス	武田光司コレクション寄贈
佐藤昭一	マフラーの自画像	1945 (昭和 20) 頃	油彩・キャンバス	佐藤昭一氏寄贈
水田荘介	青衣の女	1964 (昭和 39)	油彩・キャンバス	
高山良策	こども	1954 (昭和 29)	油彩・キャンバス	西村祐次氏寄贈
横井弘三	子供		油彩・キャンバス	
勝呂 忠	母と子	1955 (昭和 30)	油彩・キャンバス	勝呂忠氏寄贈

展示室3 グラフィック・アートの魅力

グラフィック・アートは、主に版画や印刷によって表現された芸術作品です。これらは、作品を複製する実用性を担っていますが、19世紀以降、芸術的側面からとらえる傾向が強まり、版画や印刷特有の色調や線、画面の平面性などに魅了された芸術家が多くあらわれました。現在のチェコに生まれ、パリで活躍したアルフォンス・ミュシャ（1860 - 1939）もそのひとりです。

20世紀に入ると、限定出版による版画集が隆盛期を迎えます。イギリスの画家・版画家のパトリック・コールフィールド（1936 - 2005）の版画集『ジュール・ラフォルグの詩』は、フランス詩人ラフォルグの詩を説明的に描写するのではなく、詩から生まれるイメージを明確な輪郭線と平面的な色彩によって視覚化しています。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
パトリック・コールフィールド	『ジュール・ラフォルグの詩 (A版)』	1973	シルクスクリーン・紙 /ポートフォリオ (6点組)
リチャード・ハミルトン	フラワー・ピース B	1976	リトグラフ・紙
デイヴィッド・ホックニー	『放蕩者のなりゆき』	1961-63	エッチング、アクアチント・紙 (16点組)
サー・エデュアルド・パオロツィ	『ムーンストリップス・エンパイア・ニューズ』 Vol.1	1967	シルクスクリーン・紙 (一部アセテート) /ポートフォリオ (100点組)
サー・エデュアルド・パオロツィ	『零エネルギー実験電池』 Vol.1	1970	リトグラフ、シルクスクリーン・アクリル /ポートフォリオ (6点組)

展示室 4-① ショーラムのエインシャンツ

1821年、『ヴァーヂルの「田園詩」第1巻』がイギリスで発行されました。そこには、詩人で画家のウィリアム・ブレイク（1757 - 1827）の珠玉の木口木版画17点が挿入されていました。荒々しく、ともすれば素人の手によるとも見られそうな彫りですが、そこに描かれたモノクロームの風景は、静かで、平和で、理想郷と呼ぶにふさわしいものです。それらの木口木版画に魅せられた若いパーマーやカルヴァートといった画家たちは、イングランド南東部のケント州にあるショーラムというところに集い、自らをエインシャンツ（古代人たち）と呼び、時にはブレイクを囲んで創作活動をしていたのでした。その活動は一時期のものではありませんが、20世紀に入ってからは、イギリスを代表する風景画家サザーランドらによってその魂が受け継がれました。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ウィリアム・ブレイク	『ヴァーヂルの「田園詩」第1巻』	1821 刊	木口木版・紙/本
ウィリアム・ブレイク	『ヴァーヂルの「田園詩」第1巻』（後刷）17点	1937 刊	木口木版・紙/ポートフォリオ
ウィリアム・ブレイク	『ヴァーヂルの「田園詩」第1巻』から「コリネットの旅：ロンドンへ62マイルの標石」の試刷12点		木口木版・紙
バイフィールド	ブレイクの模刻（シノットとコリネットは二本の樹の間に腰を下ろして語り合う）2点		木口木版・紙
バイフィールド	ブレイクの模刻（シノットと悲しみに腕を振り回すコリネット）		木口木版・紙
バイフィールド	ブレイクの模刻（シノットはコリネットを諷める）		木口木版・紙
バイフィールド	ブレイクの模刻（シノットはコリネットを諷める：遠景「速足」）		木口木版・紙
ジョン・リネル	正午（真昼の羊）	1818	エッチング・紙
ジョン・リネル	修道院の廃墟	1818	エッチング・紙
サミュエル・パーマー	クリスマス（最後の羊を囲う）	1850	エッチング・紙
サミュエル・パーマー	ひばり	1850	エッチング・紙
サミュエル・パーマー	牧夫の小屋（日没）	1850	エッチング・紙
サミュエル・パーマー	眠る羊飼いは：早朝	1857	エッチング・紙
サミュエル・パーマー	昇る月（イングランドの田園詩）	1857	エッチング・紙
サミュエル・パーマー	疲れ果てた農夫（牧夫またはタードゥス・ブブルクス）	1858	エッチング・紙
サミュエル・パーマー	早朝に働く農夫（山々に広がる朝）	1861 以前に着手	エッチング・紙
サミュエル・パーマー	生命の朝	1860-1 に着手	エッチング・紙
サミュエル・パーマー	夜回りの人	1879	エッチング・紙
サミュエル・パーマー	孤高の塔	1879	エッチング・紙
サミュエル・パーマー	囲いを開く（早朝）	1880	エッチング・紙
サミュエル・パーマー	『ヴァーヂルの「田園詩」英語版』	1883 刊	エッチング・紙/本
エドワード・カルヴァート	林檎酒の宴	1828	木口木版・紙
エドワード・カルヴァート	小川	1829	木口木版・紙
エドワード・カルヴァート	貴婦人とミヤマガラス	1829	木口木版・紙
エドワード・カルヴァート	家路	1830	木口木版・紙
フレデリック・ランシアー・グリッグス	聖イポリツ	1927	エッチング・紙
グレアム・サザーランド	薪	1925	エッチング・紙
グレアム・サザーランド	ミカエル祭	1928	エッチング・紙
ポール・ダリー・ドゥルリー	夕暮れ	1925	エッチング・紙
ポール・ダリー・ドゥルリー	九月	1928	エッチング・紙
ロビン・タナー	マーティンのあばら家	1927	エッチング・紙
ジョゼフ・ウェッブ	林檎の並木道	1938	エッチング・紙

展示室 4-② 工芸のデザイン

工芸のデザインは、もの自体の特質—制作方法や素材、使用目的と深く関わっています。郡山出身の佐藤潤四郎（1907 - 1988）はガラスの特性を見極めて、職人の手仕事の痕跡を感じさせるようなぬくもりのあるガラスデザインを生み出し、イギリスの工業デザイナー、クリストファー・ドレッサー（1834 - 1904）は近代的な製造方法に適した先進的なデザインを考案しました。どの作品にも使い手の生活を彩る意匠が凝らされています。また、彼らは広く異国のデザインに学び、その要素を取り入れて自身のデザインを昇華させてきました。日本とイギリスで、それぞれに工芸の一時代を築いた二人の作家のデザインをお楽しみください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
佐藤潤四郎	鍛鉄吹込花器・灯もつけて	1986 (昭和 61)	ガラス、鉄／鍛鉄吹込
佐藤潤四郎	鍛鉄吹込花器 (顔)	1986 (昭和 61)	ガラス、鉄／鍛鉄吹込
佐藤潤四郎	オブジェ・ガラスを吹く人 (2点組)		鍛鉄 大方竜子氏寄贈
佐藤潤四郎	大杯・ガラスを吹く人	1986 (昭和 61)	ガラス／宙吹・グラヴュール、プランツ 佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	大杯・ワインを造る		ガラス／宙吹・グラヴュール、プランツ 佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	フンベングラス	1975 (昭和 50) 頃	ガラス／宙吹 小林東洋氏寄贈
佐藤潤四郎	ルーマー杯・大好きな形		ガラス／宙吹・プランツ
佐藤潤四郎	竹に雀文ワイングラス		ガラス／宙吹・グラヴュール、プランツ 佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	タンブラー (スモークグラス) (2点組)		ガラス／宙吹
佐藤潤四郎	タンブラー		ガラス／型吹ほか 佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎デザイン/カガミクリスタル製作	『スーパーニッカ』手吹きボトル	1962 (昭和 37) 頃	ガラス／宙吹 川崎清氏寄贈
佐藤潤四郎	灰皿		ガラス／型押し
佐藤潤四郎	花器 (グリーン)		ガラス／宙吹
佐藤潤四郎	植物文一輪挿し		ガラス／宙吹・グラヴュール
佐藤潤四郎	花器・一寸考えて		ガラス／宙吹
佐藤潤四郎画 福永昭二書	『比伊止呂造法』	1984 (昭和 59)	本 芸艸堂発行
佐藤潤四郎著	『ガラス 窯と火と風』	1979 (昭和 54)	本 芸艸堂発行
各務鑛三著 佐藤潤四郎画	『ガラスの生長』	1983 (昭和 58)	本 中央公論美術出版発行
クリストファー・ドレッサー	ローマン瓶 (緑色クルーサ・ガラス)		ガラス ジェイムズ・クーパー&サンズ社
クリストファー・ドレッサー	瓶 (緑色クルーサ・ガラス)		ガラス ジェイムズ・クーパー&サンズ社
クリストファー・ドレッサー	花瓶 (緑色クルーサ・ガラス)		ガラス ジェイムズ・クーパー&サンズ社
クリストファー・ドレッサー	クラレットジャグ (ぶどう酒用容器)		ガラス、金属、電気メッキ ヒューキン&ヒース社
クリストファー・ドレッサー	クラレットジャグ (ぶどう酒用容器)		ガラス、金属、電気メッキ ヒューキン&ヒース社
クリストファー・ドレッサー	シュガー・バスケット (穴あきふるい付き)	1884	金属、銀メッキ ヒューキン&ヒース社
クリストファー・ドレッサー	塩入れとスプーン	1884	銀 ヒューキン&ヒース社
クリストファー・ドレッサー	レター・ラック (円形、可動式)		金属、電気メッキ ヒューキン&ヒース社
クリストファー・ドレッサー	レター・ラック&ブックエンド	1885	金属、電気メッキ ヒューキン&ヒース社
クリストファー・ドレッサー	染付鳥文壺		磁器 ミントン社
クリストファー・ドレッサー	柳編み把手付きケトル		金属、電気メッキ ヒューキン&ヒース社
クリストファー・ドレッサー	蓋つきスプーン入れ		金属、電気メッキ、黒檀把手 ヒューキン&ヒース社
クリストファー・ドレッサー	把手付き燭台		真鍮、木製把手 リチャード・ベリー・サン社
クリストファー・ドレッサー	真鍮製燭台 (一対)		真鍮 リチャード・ベリー・サン社
クリストファー・ドレッサー	ケトルとスタンド		銅、真鍮、鍛鉄 ベナム&フロード社
クリストファー・ドレッサー著	『植物学の基礎』	1859	本 ジェームズ・スプレント・ヴァーチャー社発行
クリストファー・ドレッサー著	『デザイン研究』	1874-76	本 カッセル・ピーター&ガルピン社発行

ロビー展示 彫刻・他

作者名	作品名	制作年	技法・材質
●1階			
笠置季男	躍進	1958 (昭和 33)	セメント
アントニー・ゴームリー	量子雲 XXIII	2000	ステンレス・スチール棒
アントニー・ゴームリー	領域 XIII	2000	ステンレス・スチール棒
●2階展示ロビー			
アリスティード・マイヨール	もの思い	1930	ブロンズ 大高善二郎氏寄贈
北村四海	井冰鹿の娘	1917 (大正 6)	大理石
植木 茂	体		木
堀内正和	顔	1955 (昭和 30)	鉄、セメント
●前庭			
バリー・フラナガン	野兎と鐘	1988	ブロンズ